



7月より入職致しました。
以前、谷茶の丘シヨートステイ事業所の職員として約10年間働いていましたが、IT関連の職について技術を身につけたいという自分の思いがあり退職しました。
あれから約7年の月日が経ちましたが今回再びご縁をいただき、谷茶の丘に戻ってきました。
今後は、学んできたITの技術や知識がゆうなの会のために役立てることができるよう頑張ります。



前職は介護老人保健施設で働いていました。
自分の祖母が谷茶の丘に入所したのをきっかけに私も一緒に入職しました。
業務の流れや、利用者一人一人の性格等を覚えるのは大変ですが、職員が優しく教えてくれるのでとても助かりました。
短い間ではありましたが、祖母の介護もしながら働く事が出来たので、とても良い経験となりました。これから経験を活かして、利用者一人一人の人生観等を大切にしながら働かせてもらいたいです。



8月に施設サービスクに入職しました。
沖縄国際大学を卒業して、介護福祉士として愛知県の障がい者施設に6年間ほど勤めた後に沖縄に戻り、大名老人ホームで働くことになりました。
障がい者施設でも高齢の方が増えてきており、特に認知症の方の対応では、これまでの経験を生かしたケアが提供できるのではないかと考えています。
またケアマネジャーの資格取得にもチャレンジしていきたいです。



7月からグループホームコスモスの管理者となりました。
これまで老人ホーム大名施設サービスクの介護員として、また訪問介護マーガレットで在宅の利用者のケアに携わってきました。
これからも事業所の仲間と共に学びながら、利用者それぞれの個性を把握して、ひとりひとりに寄り添った安心できるケアを提供していきたいです。

僭越(せんえつ)ながらちよつといですか…【職員紹介】

老人ホーム谷茶の丘 榎

事務員 知念 良太さん

老人ホーム谷茶の丘 雅

介護員 島袋 光弥さん

特別養護老人ホーム大名

介護員 仲田 倫浩さん

グループホームコスモス

管理者 新城 司さん

めりがとびざいります！これからますますくお願ひします

「日頃の機能訓練の成果を発揮」

ご利用者様の日ごろの機能訓練の成果を確認し、地域と繋がることを目的としたリハビリプログラムに、恩納村にある沖縄科学技術大学院大学(OIST)、恩納村博物館、万座毛周辺活性化施設様にご協力頂き、温かく迎え入れていただきました。
参加された仲田妙子様は、「地域にこんな素晴らしいところがあるとは知らなかった。訓練や自分でも運動を頑張ってもっといろんなところ行きたいといけないね。」と今後の訓練の励みにされていました。



【上右】OISTスカイウォーク
【上左】恩納博物館
【下】万座毛象の鼻

特別養護老人ホーム大名 自動車総連様、沖縄実業様

令和5年4月21日、自動車総連沖縄地方協議会 當眞義也議長ほか役員の方が見えになり、車いす3台と移動用補助具8台を寄贈して頂きました。
自動車総連様は1975年から毎年「福祉カンパ」を集めて全国の福祉施設へ福祉用具を寄贈する活動を継続されています。
また令和5年9月13日、沖縄実業様よりポータブルトイレ5台を寄贈して頂きました。



沖縄実業様は1979年より毎年敬老の日を前に同社が取り扱う福祉用具を沖縄県と沖縄県社会福祉協議会へ寄贈され、今回で45回目となるそうです。どちらも有効に活用させていただきます。

特別養護老人ホーム大名 大名第二回地自治会 移動支援プロジェクトが本格的に始動

令和5年7月25日、大名第二回地自治会(以下同自治会)集会所にて「地域の足移動支援プロジェクトの共同実施に関する協定締結調印セレモニー」が開かれました。
これまで那覇市の公共交通不便地域となっていた同自治会において、那覇市社会福祉協議会様が企業や地域の社会福祉人と調整し約半年に及び試行期間を経て、本格的な始動になりました。
今後は週2回、高齢者世帯や運転免許返納者の方々を近くのスーパーまで送迎して買い物をサポートし、老人ホーム大名の職員も運転ボランティアとして協力していきます。



しきなガーデン ベトナム人職員の受入れ

今年の6月より、しきなガーデンでは、グエン・ティ・ホアイ・フォンさん、ダン・ティ・ティンさん、お二人のベトナム人が働いています。
お二人は3年前にベトナムから来日され、就労ビザを取得して県外の企業で働いていました。
1年半前に来沖されて、県内の有料老人ホームで介護のお仕事をされた後に、今回しきなガーデンへ入職されています。
日々日本語が上達し、介護技術を習得していただけるように、職員と共に頑張っています。



【左】フォンさん
【中央】ティンさん
【右】サポートハウスのぞみ根路銘誠管理